

防 災

5段階の「警戒レベル」を用いて避難勧告などを発令します！

平成30年7月豪雨(西日本豪雨)では、気象庁や各自治体が事前に避難を呼び掛けていたにもかかわらず、実際に避難するという行動に結び付かなかったことから、多くの人が犠牲になりました。

自らの命を守るため、自分が住んでいる場所の危険性を事前に把握し、市から発表される情報の種類と、命を守る避難行動を確認するようにしましょう。

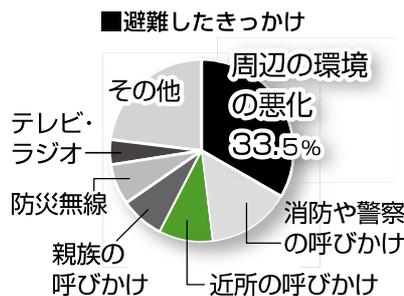
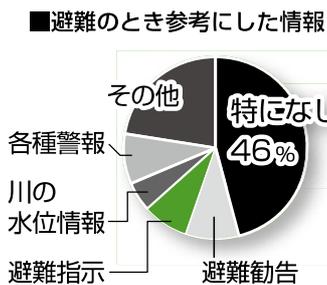


警戒レベル4・警戒レベル3の情報が発表された場合は、安全な場所に避難しましょう！

警戒レベル	避難の情報など	命を守る避難行動など
警戒レベル5	災害発生情報	すでに災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。
警戒レベル4	避難勧告 避難指示(緊急)	<p>速やかに安全な場所へ避難をしましょう。</p> <p>※避難先は最寄りの緊急避難場所に限りません。より安全な道を通って行ける別の緊急避難場所や、知人・親戚宅なども選択肢の一つです。</p> <p>※事前に自宅、学校、会社周辺の危ない場所を防災マップなどで確認しておきましょう。 防災マップ▶</p> <p>市HP▶ <input type="text" value="防災マップ"/> <input type="button" value="検索"/></p>
警戒レベル3	避難準備・高齢者等避難開始	お年寄り、体の不自由な人、子供など避難に時間がかかりそうな人やその支援者は、避難を開始しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。
警戒レベル2	洪水注意報 大雨注意報	避難に備え、自らの命を守る避難行動を確認しましょう。
警戒レベル1	早期注意情報	気象情報などの最新情報に注意しましょう。

平成30年7月豪雨(西日本豪雨)の課題

周辺の環境が悪化してから避難しようとしたため、避難が間に合わない、というケースが多くありました。



出典：中央防災会議 防災対策実行会議「平成30年7月豪雨による水害・土砂災害からの避難に関するワーキンググループ」

危機管理課
☎457-2537